

佐賀大学 海外派遣留学報告書

1	学籍番号	17141037		
2	氏名	清田 早貴		
3	佐賀大学での所属(派遣時)	経済学部	経済学科	3年
4	留学先	大学: ユバスキュラ大学		学部・学科等: ビジネス、経済
		国名	フィンランド	都市名 ユバスキュラ
5	留学期間	20 19 年 8 月 ~ 20 19 年 12 月		
6	留学先大学	①【留学前】留学先大学を選んだ理由 ユバスキュラ大学のプログラムに含まれてあるEach One Teach One という自主的なペア学習に興味を持ち、1対1で言語学習をしてみたいと思ったことが一つ、フィンランド人の英語能力の高さから、何か学ぶことができるのではないかと思ったから。		
		②【留学後】留学先大学の魅力 期待通り、Each One Teach One は言語学習ができる上に、親交を深めやすく、楽しむことができるプログラムであった。Friendship Family Programmeというフィンランド人の家庭と関わるホームステイのような制度も魅力的である。		
7	語学について	①【留学前】TOEFL等の公的試験の最終得点		
		試験名称 TOEFL ITP	スコア 547	
		②【留学前】語学能力向上のために準備したこと リスニングの練習として、興味・関心のある海外の番組を英語で視聴するようにしていた。		
		③【留学中】現地生活を開始した当初の日常生活における語学能力 <input type="checkbox"/> ウ)かなり困った		
		④【留学中】日常生活で困らなくなるまでかかった月数 3ヶ月ぐらい		
		⑤【留学中】留学先大学の授業や研究における内容の理解度 <input type="checkbox"/> ウ)かなり困った		
		⑥【留学中】授業や研究で困らなくなるまでかかった月数 3ヶ月ぐらい		
		⑦【留学中】授業や研究室における発言 <input type="checkbox"/> ウ)かなり困った		
		⑧【留学中】授業や研究室における発言で困らなくなるまでかかった月数 3ヶ月ぐらい		
		⑨【留学中】授業・研究の準備の際の文献読解 <input type="checkbox"/> イ)少し困った		
		⑩【留学中】授業・研究の準備の際の文献読解で困らなくなるまでかかった月数 1ヶ月ぐらい		
		⑪【留学中】授業・研究におけるレポート等の執筆 <input type="checkbox"/> ウ)かなり困った		
		⑫【留学中】授業・研究におけるレポート等の執筆で困らなくなるまでかかった月数 3ヶ月ぐらい		
		⑬【留学中】語学能力向上のために努力したこと 語学能力の高い現地の学生や留学生と話して、どういった表現を使うのか、どういう言い回しなのかを集中して聞いて、自分でもそうした表現を会話の中に取り入れてみるように意識していた。		

8	履修登録・ 単位認定	<p>①出発前に留学先での履修登録はできたか いいえ</p> <p>②留学先に到着後、履修科目の変更・追加はできたか <input type="checkbox"/>はい</p> <p>③一学期あたりの履修科目・単位数 12 credits</p> <p>④一学期に履修した科目数・単位数の量 <input type="checkbox"/>少なかった</p> <p>⑤履修登録に関するアドバイジング <input type="checkbox"/>あった</p> <p>⑥留学先で取得単位を佐賀大学で単位互換できたか <input type="checkbox"/>はい (科目 単位) <input type="checkbox"/>いいえ</p>
9	授業内容	<p>①履修した科目の具体的な概要・内容 Intensive Summer Course…ユバスキュラ大学の授業で求められる英語に備えるためのコース。四技能が満遍なくカリキュラムの中に盛り込まれており、リーディング、リスニングでは課されるタスクの要約が求められ、自分で決めたテーマのエッセイを書くこと、また、ディスカッションやディベート、プレゼンテーションを行うこともあった。Introduction to Corporate Communication…現代の組織において重要な役割を担う企業広報の分野についての概要を捉えるコース。企業のアイデンティティやブランディング、評価を踏まえた上で、どのようなコミュニケーション戦略、マネジメントを行っていくべきかを、実存する組織の立場を例に学んだ。Basic Academic Writing …アカデミックライティングで求められるレベルのスキルを身につけるために欠かすことの出来ない必要事項を学んだ。argumentative essayやcritical essay等自分が書いたエッセイをpeer feedbackする作業や、それぞれが定めたテーマについて話し合うペア、グループワークもあった。</p> <p>②留学先の学年暦(学期・休暇)、授業スタイル、授業への準備、試験等の準備 1) 学年暦 秋学期9～12月、春学期1～5月 2) 授業スタイル グループワーク、レクチャー、インディペンダントスタディー 3) 予習復習方法 予習: 指定された教科書を読んでくる。復習: 講義で撮ってあるビデオや提供されたスライドを見る。 4) 試験・レポートの準備 教授がテストでおさえておくべき箇所を事前に受講者に伝えてくれたのでそうした箇所を重点的に対策して試験に臨んだ。レポートでは本やインターネットで自分が決めたテーマについて下調べを入念にする必要があった。</p>
10	課外活動	<p>①課外活動に参加した頻度 <input type="checkbox"/>1学期に1回～数回程度</p> <p>②参加した課外活動はどのようなものか 現地の大学生や大学側が留学生同士の親睦を深めることを目的として催されたイベント。</p> <p>③参加した理由 様々な国からの留学生と関わることを授業以外にも体験したかったから。</p>

11	学内外の施設・環境等	①留学先のインターナショナルオフィスの支援体制
		<input type="checkbox"/> ア) 充実している (理由:履修クラスについてのアドバイスを رفتたり、大学で開催するイベント情報を提供していたから。)
		②図書館
		<input type="checkbox"/> ア) 充実している
		③学内通信環境
		<input type="checkbox"/> ア) 充実している
		④運動施設
		<input type="checkbox"/> ア) 充実している
		⑤飲食施設(学食・売店等)
		<input type="checkbox"/> ア) 充実している
		⑥クリニック
		<input type="checkbox"/> ア) 充実している
		⑦キャンパスの安全性
		<input type="checkbox"/> ア) 安全
⑧安全について特に気を付けていたこと(キャンパス内)		
貴重品を置いたまま席を離れるようなことはないようにした。		
⑨渡航先の治安状況		
<input type="checkbox"/> イ) 日本と変わらない		
⑩特に近付かない方がいいと感じた地区や場所		
駅周辺		
⑪通学に関しての交通事情や留意点		
交通機関は市内バスのみ。歩行者、自転車用通路が車道と全く離れている所もあるので比較的安心して外出できると思う。		
12	生活	①留学中の住居形態
		<input type="checkbox"/> イ) 民間アパート
		②住居はどのように探したか
		大学の申請時に住居についての希望を記入する必要があるなので、そこに記入すれば良い。
		③留学先での生活費(月額)
		合計 約 61100 円/月
		詳細: ア) 宿舍費: 35570 円
		イ) 食費: 20000 円
		ウ) 通信費: 2880 円
		エ) 交通費: 2650 円
		オ) その他 _____ 円
		④お金はどのようにしてもっていったか
		現金とクレジットカード
		⑤留学先における物価(日本・佐賀と比較して)
<input type="checkbox"/> ア) 高い		
⑥留学中奨学金を受給したか		
<input type="checkbox"/> ア) はい		
⑦受給した場合は、その奨学金名と金額		
ア) 奨学金名 校友会海外派遣奨励金		
イ) 金額 150000円		

13	進路・就職	<p>①留学前に志望していた学部卒業後の進路または大学院終了後の進路 漠然と民間企業への就職としか考えておらず、特にどの分野に就職したいかは明確ではなかった。</p> <p>②留学後、現在志望している進路 IT、ソフトウェア産業、または、貿易、商社等、海外と関わることのできる業界。</p> <p>③今回の交換留学を通じて得たもので、将来のキャリアに活かせると思うもの グループワークや、学生間でフィードバックをお互い行うことが多々あり、今後働く上でそうした共同作業が企業から求められると思うので、チームに与えられた課題を解決することや、企業の目標を達成することに、この経験が活かされるのではないかとと思う。</p> <p>④進路選択、就職活動を行う上で、不安や気になること 留学している期間に開催された企業のインターンシップを体験している学生も多く、自分は数カ月遅れているので、もっと企業についての情報収集を行う必要があると思う。</p>
14	留学後の感想	<p>①留学したことによる成果と課題 英語でコミュニケーションを取るにもある程度慣れることができ、リスニングとスピーキングが留学前と比較して伸びてきたように感じたが、込み入った内容の話を理解するのに時間がかかってしまうので、その点が課題として残った。</p> <p>②これから留学を希望する学生に伝えたいこと 留学では様々な国の人から日本について聞かれることが多いので、自分の国のことについて話をまとめておくと良いと思います。それから、勉強だけでなく、多くの人と親交を深める良い機会ですので、英語で表現力を養うことを目標としたら良いと思います。</p> <p>③国際交流推進センターのサポートに対する提案・意見など 渡航前に色々と支援していただき、ありがとうございました。</p>